

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生活環境部リサイクルプラザ	直通電話	64-3196	事業コード	205010302	課内	4	作成日	平成15年8月6日	
	担当者		三宅 宏		担当課長		相澤 幸一		担当部長	吉田 保雄

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	不要品・廃棄物再利用促進事業	開始年度	H12	終了年度	未定
		最近の事業内容見直し年度			
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード 2050103 大項目 / 小項目 / 細項目 環境衛生の充実 / ごみ処理の充実 / ごみの減量化・リサイクルの推進				
3) 個別計画での位置付け	石狩市環境基本計画(平成32年度リサイクル率30%を目指す。)				

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	ごみを少しでも減らし、資源の有効利用とリサイクルを進める。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市民に資源の再利用とリサイクルについて理解し、協力してもらい、そのことがごみの減量につながることを認識してもらおう。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で不要になった粗大ごみ(家具、自転車等)がある場合、リサイクルプラザに電話連絡してもらう。</li> <li>・リサイクルプラザより家具等を引き取りに行く(市民に還元できそうな物のみを引き取る)。</li> <li>・回収については、石狩市シルバー人材センターに委託。</li> <li>・引き取った物をリサイクルプラザの工房で職員及び知的障害者が修理・清掃し展示場で展示する。</li> <li>・期間を決めて市民から展示場のリサイクル品購入の申込を受ける。</li> <li>・申込者の多い物については、抽選し販売する。</li> </ul>
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	ごみの減量化と資源のリサイクル・再利用を進めるため、同様の事業を行っている自治体もある。また、民間のリサイクルショップでも行っている。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	家具等の不要品を回収するには、現在のところ市民からの連絡がないと実施不可能である。
7) 評価中間公表への市民意見	なし

## 3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	2,731	2,460	2,707	2,628	賃金	2,003
2) その他の間接経費(千円)					再生用消耗品費	585
3) 従事正職員の人件費(千円)	8,216	8,289	8,234		再生用原材料費	119
総事業費(1~3の合計;千円)	10,947	10,749	10,941		H14 主な特定財源の内訳	
総事業費中の一般財源(千円)	10,453	10,105	10,260		リサイクル品販売代金	681
市民一人当たり一般財源使用額(円)	189	182	184			
事務に従事した正職員のべ人数	1.00人	1.00人	1.00人			

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
回収依頼件数(件)	目標値	245	310	325	330	目標値回収依頼件数で設定
	実績値	231	297	310		
	達成率	94.3%	95.8%	95.4%		
実回収件数(件)	目標値	225	275	290	300	目標値は実回収件数で設定
	実績値	216	263	275		
	達成率	96.0%	95.6%	94.8%		
	目標値					
	実績値					
	達成率					

## 5 事業の成果

事業名：不要品・廃棄物再利用促進事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
抽選販売出品数(個)	目標値	350	400	430	450	目標値は販売のため出品した数で設定	販売出荷台帳
	実績値	331	382	412	目標レベル		
	達成率	94.6%	95.5%	95.8%			
	最終目標	年度に					
出展品申込者数(人)	目標値	3,100	2,650	3,100	3,200	目標値は申し込みをした人数で設定	申込書
	実績値	2,940	2,524	2,960	目標レベル		
	達成率	94.8%	95.2%	95.5%			
	最終目標	年度に					
リサイクル品販売額(千円)	目標値	未設定	未設定	720	750	目標値は販売見込金額で設定	決算書
	実績値	494	644	681	目標レベル		
	達成率			94.6%			
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	【課長評価】	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
【評価ポイント】 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか		回収実績も伸びてきていることから概ね良好と判断した。			
2) 有効性・必要性	【課長評価】	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
【評価ポイント】 その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか		市民から提供を受けたりサイクル品を定期的に抽選販売することでごみ減量に役立ち、また、整備・清掃された品物を安価で購入できるため、申込者が増加傾向にあることから有効かつ必要と判断する。			
3) 市関与の妥当性	【課長評価】	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
【評価ポイント】 その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か		市内にも民間業者によるリサイクルショップの店があるが、品物の引き取りについて形状・形態によっては有料になる物が多く、粗大ごみとして廃棄されることが想定されることから、一定の妥当性があると判断する。			
4) 事業内容の妥当性	【課長評価】	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
【評価ポイント】 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか		不要品の引き取り依頼が多くなり、抽選会にも多数の市民が多く参加するようになった。また、引き取りは無料であり、清掃・整備された品物を安価で提供することで一定の妥当性がある。			

## 7 平成14年度事業の総合評価

【評点の意味】 A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	【課長評価】	B	【最終評価】	B (前年度)
		多数の市民に喜ばれ、また、再利用することでごみ減量が図られた。		リサイクルプラザ開設4年目に入り、これまでの取り組みが市民の認知を受け、利活用されている。

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	多数の市民に親しまれているが、同じ顔ぶれの市民参加が多く、幅広い市民の参加を図る必要がある。
最終評価	資源回収団体、町内会との連携強化を図り、地域との不要品ネットワークづくりを目指す。

## 9 平成16年度の方向性

* : 担当課長 : 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
上についでの説明			